

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名   | 放課後等デイサービスささえ  |    |                               |  |   | 公表日 | 令和8年3月1日 |
|--|--|----|-------------------------------|--|---|-----|----------|
|  | チェック項目   | はい | いいえ                           | 工夫している点  | 課題や改善すべき点   |     |          |
| 環境・体制整備  | 1<br>利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 10 | 1                             | ・静かにしたい時に対応できる部屋がある<br>・時間を適切に区切って、子供たちにも分かりやすく活動をしている。<br>・療育室が広いので、体を動かす余裕がある。   | 限られたスペースで療育を行わなければなりません。相談室を有効活用したり、仕切りマットを活用したりする必要がある。                            |     |          |
|  | 2<br>利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 4  | 7                             | ・職員の増員が必要だと思う。<br>・正社員さんの負担が多いように思われます。<br>・スタッフとの関わりを求められても、スタッフの数と子どもの数が見合っていないので、関わってあげられないのが残念。<br>・個別の対応が必要な場面が生じると、スタッフの数が少なく感じることがある。 | 基準人員は充足していますが、下校時間がバラバラの日や学校日と学校休日が混合している日等は手薄に感じる場合があります。安心安全の為に可能な限りスタッフの増員を検討する。 |     |          |
|  | 3<br>生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 11 | 0                             | ・マット等を上手く活用しています。<br>・ホワイトボードを活用し一日の流れがよくわかる点が良いと思います。<br>・子ども達が自由に遊び道具を手にとれる。<br>・ホワイトボードを使い、その日のスケジュールがわかりやすいよう提示されている。                    | 今後も「見える化」を推進していきます。   |     |          |
|  | 4<br>生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 10 | 1                             | ・設備が新しくなり、改善されている部分もある<br>・壁紙やトイレなどが新しくなり清潔になった。<br>・とても綺麗で感謝しています。<br>・トイレ、壁紙の交換により大変快適になりました。<br>・掃除はスタッフで行き届かせているし、壁やトイレもリフォームされて綺麗になった。  | 子供たちが安心、安全に過ごせる環境を整える事は事業所の責務と考えています。引き続き設備更新は随時行っています。                             |     |          |
|  | 5<br>必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 10 | 1                             | ・一応、相談室という部屋が、一人で居たい子どもが居られる場になっている。<br>・クールダウン目的や利用者の状況によって、相談室が活用されている。  |   |     |          |
| 業務改善   | 6<br>業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 8  | 3                             | ・情報共有の見える化の推進は今後もお願いしたいです。<br>・毎週月曜日に会議を行なっています。<br>・伝達ノートを活用している。   | 子ども達を預かり、それぞれのお宅に送り届けるので時間いっぱいになってしまっていて、スタッフ同士での共有や相談の時間が取れていない。だからこそ、ノートを活用する。    |     |          |
|  | 7<br>保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                  | 9  | 2                             |  |   |     |          |
|  | 8<br>職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 11 | 0                             | ・全体会議を実施しました。<br>・車での送迎時など話す機会があると思います。<br>・状況共有のノートが設置してある。   | 非常勤職員（パート）が多い職場であり、常勤と非常勤との間の情報格差があります。今後も伝達ノート、グループLINE、全体会議等で少しでも埋めていきます。         |     |          |
|  | 9<br>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。  | 4  | 7                             |  |   |     |          |
|  | 10<br>職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                    | 11 | 0                             | ・例年より多くなったと感じる。<br>・児童虐待についての研修などためになりました  | 決まった研修は必ず実施します。   |     |          |
| 11<br>適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 9  | 2  | ・支援プログラムについては、ホームページに掲載されている。 |  |   |     |          |
| 12<br>個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。               | 11   | 0  |                               |  |   |     |          |
| 13<br>放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6  | 5  |                               | 常勤職員と非常勤職員との情報偏頗を可能な限り埋めていきます。   |   |     |          |

|          |            |  |   |    |   |   |   |
|----------|------------|--|---|----|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 14         | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 9   | 2  | ・人員に余裕があればより良い支援が期待できると思います<br>・個別支援計画やモニタリング記録など、職員が見られる場所に保管してある。   |   |   |
|          | 15         | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 7   | 4  | ・その週になにか変化があったかなど、時間がなく周知されていないことがあります。   | 伝達ノート等の有効活用。  |   |
|          | 16         | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8   | 3  | ・おそらく支援計画は適切に作成されていると思いますが、よくわからないのが現状です。   | 伝達ノート等の有効活用。  |   |
|          | 17         | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 10  | 1  | ・常勤スタッフで活動内容を毎週検討実施しています。<br>・月単位で、職員同士の話し合いによって決められている。  | パート職員は実践のみで立案会議には参加していませんので、どのような形で立案にも参加できるか検討していきます。  |   |
|          | 18         | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 11  | 0  | ・調理、屋外活動が増えた。<br>・毎週違う活動になってます。<br>・活動プログラムはとても熱心に工夫され、子供たちも興味が広がられていると思います。<br>・複数の職員がアイデアを持ち寄って、話し合いによって決めている | 活動プログラムは毎週違います。保護者さまからもご好評いただいています。   |   |
|          | 19         | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。   | 11  | 0  |   |   |   |
|          | 20         | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 7   | 4  | ・活動の内容によっては分担を事前に指示してもらえます。   | ・勤務時間の関係で毎回は参加できていない。<br>・活動の内容によっては分担を事前に指示してもらえます<br>・職員が全員揃ったタイミングで、少しの時間でも打ち合わせが行われると、より職員同士の連携がとれると思う。 |   |
|          | 21         | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 6   | 5  |   | ・退社時間が早いので常勤とパート全員は難しいと感じます。・打ち合わせはないが、その日に気になったことや困ったことは、相談や報告できるように努めたい。                                  |   |
|          | 22         | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 11  | 0  | ・共有ノートを活用して情報共有しています。<br>・大きなアクシデントがあれば必ず正社員の方に事故があれば報告しています  | 伝達ノートの有効活用。   |   |
|          | 23         | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 11  | 0  |   |   |   |
|          | 24         | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。  | 10  | 1  |   |   |   |
|          | 25         | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。  | 11  | 0  | ・おやつにしても、複数種類から選ばせるようにしています。・なるべくこどもに聞かせるようにし、意思を尊重していると感じます。・買い物体験を取り入れたり、日頃の製作やレクでも自分で選択する機会を意図的に作ったりしている。    |   |   |
|          | 関係機関や保護者との | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                | 11 | 0   |   |   |
|          |            | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。              | 9  | 2   | ・時々見学に来られているので連携があると感じます。   |   |
|          |            | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 10 | 1   |   | ・落ち着きがないときなど学校、家庭での様子を知りたいと思いますが、正社員（常勤）の方がお忙しいようで聞けない時があります。 |
|          |            | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                | 7  | 4   | ・おそらくそう思います。  |   |
|          |            | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。        | 9  | 2   | ・わからない。   |   |
|          |            | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                 | 8  | 3   |   |   |

|          |  |  |    |    |  |   |
|----------|--|--|----|----|--|---|
| 連携       | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 1  | 10 |  |   |
|          | 33   | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。   | 8  | 3  | ・参加の有無はわかりません(パート)・おそらく常勤社員が出席されていると思います。  | 今後も管理者が積極参加する。                                      |
|          | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。  | 11 | 0  | ・送迎でお会いした時にお話しすることがあります。普段はお話しする機材がありません。  | 児童発達支援管理責任者だけでなく、他スタッフも送迎時に声掛けやコミュニケーションを取るよう心がける。  |
|          | 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 8  | 3  |  |   |
| 保護者への説明等 | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 11 | 0  | ・入所時に丁寧に説明しています。<br>・おそらくそう思います。   |   |
|          | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。         | 11 | 0  |  |   |
|          | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 11 | 0  |  |   |
|          | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 11 | 0  |  |   |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機材を設ける等の支援をしているか。 | 3  | 8  | ・定期的に面談を実施されている。   |   |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 11 | 0  | ・管理者が当日中に必ず対応しています。<br>・着替えなどご家庭の希望プリントがあります。                                    |   |
|          | 42   | 定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 11 | 0  | ・毎月のささえだよりやSNS。<br>・Instagramにて日々の活動を発信しています。<br>・インスタが存在します。<br>・毎月お便りを発行しています。 | 限られた人員が限られた時間で仕事をしています。その中で管理者がInstagramを定期更新しています。 |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 11 | 0  |  |   |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 11 | 0  | ・毎日の送迎でその日の事などをお伝えしています。   |   |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 1  | 10 |  |   |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 11 | 0  | ・マニュアルのある場所についての説明をいただいています。<br>・避難訓練の活動を取り入れている。                                |   |
|          | 47   | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 11 | 0  | ・自身の発生を予測した避難訓練を、年に何度か行なっている。  |   |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 10 | 1  |  |   |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 11 | 0  |  |   |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 10 | 1  |  |   |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 11 | 0  |  |   |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 10 | 1  | ・ヒヤリハットを活用していく。<br>・研修を実施しています。  |   |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 11 | 0  | ・研修を実施しました。<br>・研修が行われました。   |   |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 11   | 0  |    | ・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて勉強不足です。  |   |